令和９年度　第２次募集　選抜・評価方法

学校番号　市５
松戸市立松戸高等学校　全日制の課程　普通科・国際人文科

１　選抜の資料

⑴調査書	中学校の校長から送付された調査書
⑵面接	受検者１名・評価者２名の個人面接　　検査時間：１名１０分
⑶各高等学校において別に定める検査（作文）	字数：７００字以上８００字以内　検査時間：５０分

２　評価項目及び評価基準

⑴調査書〔１３５点満点〕

アの数値を調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア　教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にＫ＝１を乗じた数値で評価する。 評定１又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ　特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動及びその他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述があった場合、「特記事項」に英語検定、漢字検定、数学検定各３級以上の記述があった場合は、総合的に判定する際の参考とする。

⑵面接〔５０点満点〕

２名の評価者が、次の３つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、ａ（特に優れている）・ｂ（優れている）・ｃ（標準的である）・ｄ（やや問題がある）・ｅ（問題がある）の５段階で評価する。２名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（ａａ～ｅｅ）で得点化する。

評価項目	評価基準
ア　志望理由・意欲	本校を志望した理由が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
イ　質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、適切に回答することができる。 回答の内容が、具体的でわかりやすい。
ウ　身だしなみ・態度	服装（制服でも私服でも構わない）・頭髪等身だしなみが整えられている。 言動に落ち着きがあり、基本的な面接作法が身に付いている。

⑶作文〔５０点満点〕

２名の評価者が、次の３つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、ａ（特に優れている）・ｂ（優れている）・ｃ（標準的である）・ｄ（やや問題がある）・ｅ（問題がある）の５段階で評価する。２名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（ａａ～ｅｅ）で得点化する。

評価項目	評価基準
ア　字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。 適切な段落構成であり、全体としてまとまりがある。
イ　関心・意欲	高校生活に関する目標や本校で学ぶ意欲が表現できている。
ウ　内容・文章表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。 自分の考えを読み手に伝わるように表現できている。

３　選抜方法

⑴ 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第２次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

調査書の得点 評定	面接の得点	各高等学校において別に 定める検査の得点	総得点
１３５点	５０点	５０点	２３５点

⑵ その他

入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。